

ご使用前にラベルをよく読み正しくお使い下さい。また、必要なときに読めるようにこのラベルをはがさないで下さい。

オルソ剤 明治ゾール77

第2類医薬品

注意—人体に使用しないこと。



【使用上の注意】



してはいけないこと(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります。)

●薬剤を口や目に入れないこと。●小分け配布をしないこと。●希釈するときは、薬剤がはね返らないようして均一に攪拌し、手や指で直接かき混ぜるようなことはしないこと。希釈する容器は専用のものと、他と兼用しないこと。



相談すること

●万一、誤って薬剤を飲み込んだ場合は、吐かせず直ちに医師の診療を受けること。薬剤の使用により頭痛、目や喉の痛み、咳、めまい、吐気、気分が悪くなった場合などには、直ちに使用を中止し、清浄な空気の場所で安静にして、医師の診療を受けること。●医師の診療を受ける際には、本剤がオルソ剤の殺虫剤であること、および使用薬剤の名称、成分名、症状、曝露状況についてできるだけ詳細に医師へ告げること。

【効能・効果】

ハエ幼虫(ウジ)、ハエ成虫、蚊幼虫(ボウフラ)の駆除

【用法・用量】

本剤を水で希釈して汽車、電車、汽船、病院、家庭内外、下水、床下、畜舎内外、台所等に殺菌、消毒、防臭を目的として100~300倍希釈液2~3ℓ(1㎡あたり)を散布する。又、便所、ゴミ箱、水溜等のウジ、ボウフラの発生し易い場所には20~30倍希釈液2~3ℓ(1㎡あたり)を散布する。ボウフラに対しては1~2ℓ(水量1ℓあたり)使用する。

＜用法・用量に関連する注意＞

(1) 使用に際しての注意

- 定められた効能又は効果に従い、用法及び用量を厳守して使用すること。
- 薬剤によってアレルギー症状やかぶれなどを起こしやすい特異体質の人は、薬剤の処理作業には従事しないこと。
- 病人、特異体質者、妊婦、乳幼児などは、薬剤の影響のない場所に移動させること。
- 環境を汚染しないように乱用を避けること。また養魚池、井戸、地下水などに汚染する恐れのある場所、蜜蜂、蚕(桑)、水生動物などに被害を及ぼす恐れのある場所では使用しないこと。
- 食品、食器、飼料、おもちゃ、寝具、衣類、愛玩動物、観賞魚、植物、貴重品、美術品、楽器、電気製品などはあらかじめ他へ移すか、あるいは格納し、薬剤がかからないようにすること。
- 保護具(長袖の作業衣、作業帽、保護メガネ、保護マスク、保護靴、ゴム手袋など)及び使用する機械器具は、あらかじめよく点検整備しておくこと。
- 使用に際しては、必要量だけを取り出し、その都度使い切ること。
- 本剤と他の薬剤とをむやみに混合したり、加熱したりしないこと。
- 塗装面やプラスチック、石材、漆喰、白木などに薬剤が付着した場合は変色・変形する場所があるので、覆いなどの処置をして薬剤がかからないようにすること。
- 本剤は引火性があるので、火気のある場所では使用しないこと。また、電気火花が発生しそうなところでは電

源を切ってから使用すること。

11. 小分けするときは、食品用の容器や誤用の恐れのある容器に入れないこと。

(2) 使用中や使用後の注意

- 使用に際しては、保護具は必ず着用し、身体の露出部を少なくして薬剤を浴びないようにするとともに、できるだけ吸い込まないように注意すること。
- 屋内など通気の悪い場所での作業では、十分換気するよう配慮し、処理後は必ず換気すること。
- 薬剤の調製、散布中は喫煙、飲食をしないこと。使用中又は使用後にトイレに行くときは、手や顔をよく洗ってから行くこと。
- 使用後は必ず手や指などを石けんと水でよく洗うこと。また、使用中薬剤が皮膚に付いたときは、直ちに石けんと水でよく洗うこと。万一、薬剤が口、目などにいったときは、直ちに水でよく洗い流すこと。作業中に大量の薬剤を浴びた場合には、直ちに汚染した衣類を脱ぎ、シャワーを浴びるなどに体に付着した薬剤を洗い落とし、清潔な衣類に着替えること。また、必要に応じて医師の診療を受けること。
- 作業時の衣服は、他の衣服と別けて洗濯し、保護具も洗剤でよく洗うこと。希釈や薬剤処理に用いた機械器具類もよく洗うこと。
- 使用済みの空容器などは、石けん水でよく洗い、小児が手に触れないようにするとともに、他に転用しないこと。汚染した器物や洗浄液は作業現場から持ち帰り、河川、湖沼、下水道などの水系や、地下水を汚染する恐れのある場所には捨てないこと。

【成分・分量】

オルトジクロロベンゼン……77% クレゾール……10% その他1成分

【保管及び取り扱い上の注意】

- 使用後に残った薬剤は、ラベル表示のある元の容器に密封し、他のものと別けて保管すること。
- 保管場所は、食品、食器、飼料などと区別し、小児の手の届かない所で、直射日光が当たらない乾燥した涼しい場所にする。
- 漏洩した場合には、次のように処置すること。
 - 1 吸収性の媒体、例えば砂、軽石、ボロ布、オガクズなどに吸着させ、広がりや防止して回収すること。
 - 2 火災の危険が生じた場合には、すべての火元を止め、火災の誘発を防止する処置を講ずること。
 - 3 漏洩した薬剤が井戸、池、河川などの水系に流入した場合には、直ちに警察又は保健所に届け出ること。
 - 4 火災事故の場合には次のように処置すること。
 - 1 火災の拡大を軽減する最大の措置を講じること。
 - 2 薬剤が燃焼すると有害なガスが発生する恐れがあるので、人を避難させること。

第2類・第2石油類・危険等級Ⅲ・火気厳禁

サンケイファ株式会社 お客様相談窓口

電話 (022) 394-3031 受付時間 9:00~17:00(土・日・祝日を除く)

製造販売元 **サンケイファ株式会社**

仙台市青葉区芋沢字大竹新田 8-1



ラベル: PP